

神

憑

き



18禁

神憑き



みっちゃんへ。
げんきかな？

何かこここのところ天気が悪いよね。
私もお天気雨みたいな気分。

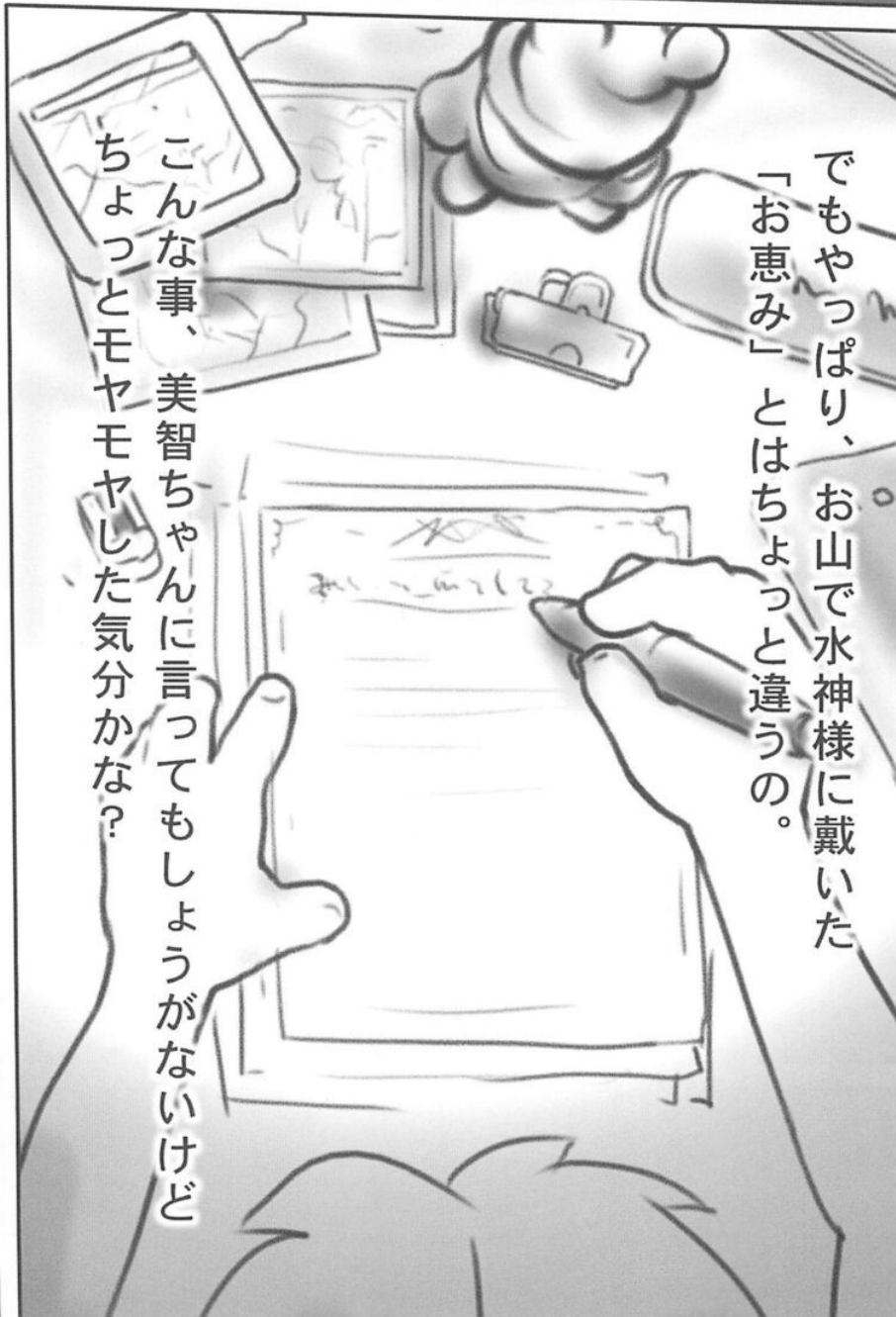
相談にのってくれてありがとう。

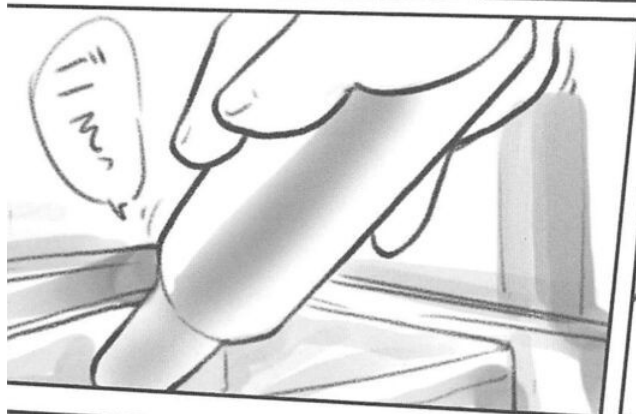
プレゼントのおもちゃ、
ステキだよ♡

最初はビツクリしちやっただ☆

でもやっぱり、お山で水神様に戴いた
「お恵み」とはちよつと違うの。

こんな事、美智ちゃんに言ってもしょうがないけど
ちよつとモヤモヤした気分かな？







ま...
まだダメだよ...
もうダメだよ...
うたが...
は...

うた

あ
は

今日は宿題の写生をしに、街を歩いた。

よく見ればこの街にも、お山ほどじゃないけれど沢山神様を祭ってある。

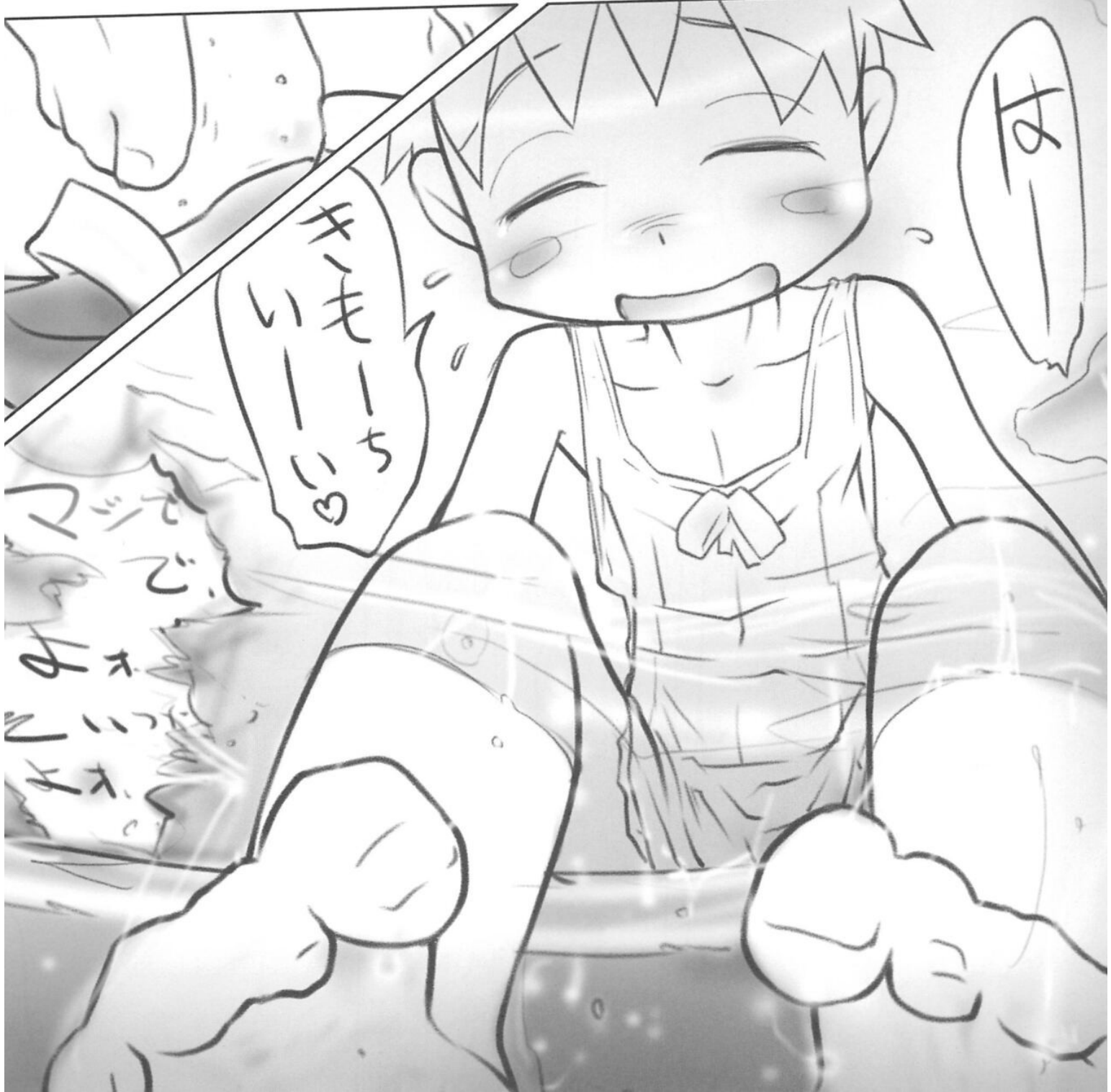
でも、そんなに大事にされていないみたいで
ひどい所は、まるでごみ捨て場所みたいになっていた。

「世の中のものにはみんな神様が宿っていて、
それを大切にしないと罰が当たる」と教わった。

目に見えたりはしないけれど、神様はいて、
私達の生活にきつと何か関わっていると思う。

でも、そんな神様のおうちに
こんなにひどい事をされたら
この街にいる神様たちも嫌になっちゃうだろうな……







その日以来

私は視線のようなものを感じるようになりました。

お山で感じた水神様のと似ています。

勿論その姿は見えませんが、私が「恥ずかしい」と感じた時だけ現れます。

その視線を浴びると、

体中を刷毛でなぞられるような

たまらない「お恵み」が押し寄せます。

私が望んでいた刺激はこれでした。

はじめのうちは下着をはかないで街を歩いたり、

恥ずかしい格好で公園を歩くだけで

そのお恵みをもらえました。

次第に私が慣れてきたせいか、

少し「恥ずかしい」と思うくらいじゃ

その視線は私に訪れなくなりました。

あーあーあー

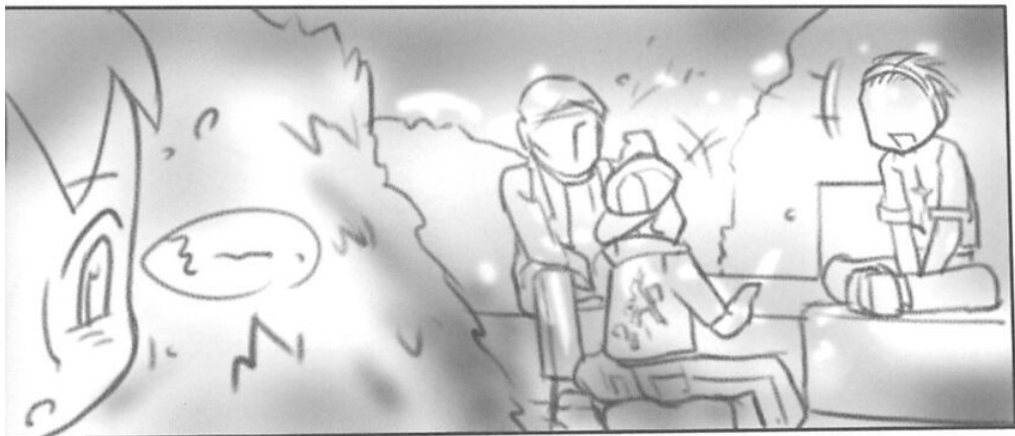
うんちが...

うんちが...

あーあーあー

もう一回...
今度の長...

私はその「お恵み」が欲しくてたまらずに
だんだん過激な行為をするようになっていました





3011きす
アムカ
アムカ

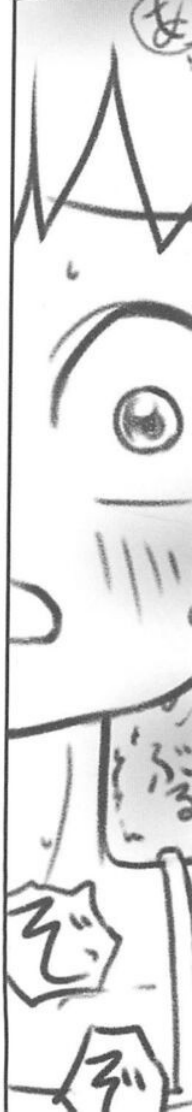
アムカ
アムカ
アムカ

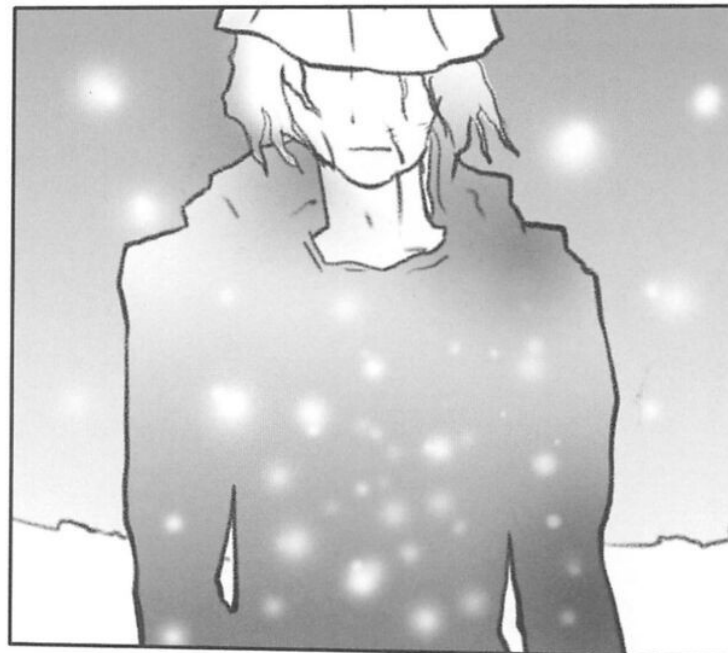
アムカ
アムカ
アムカ

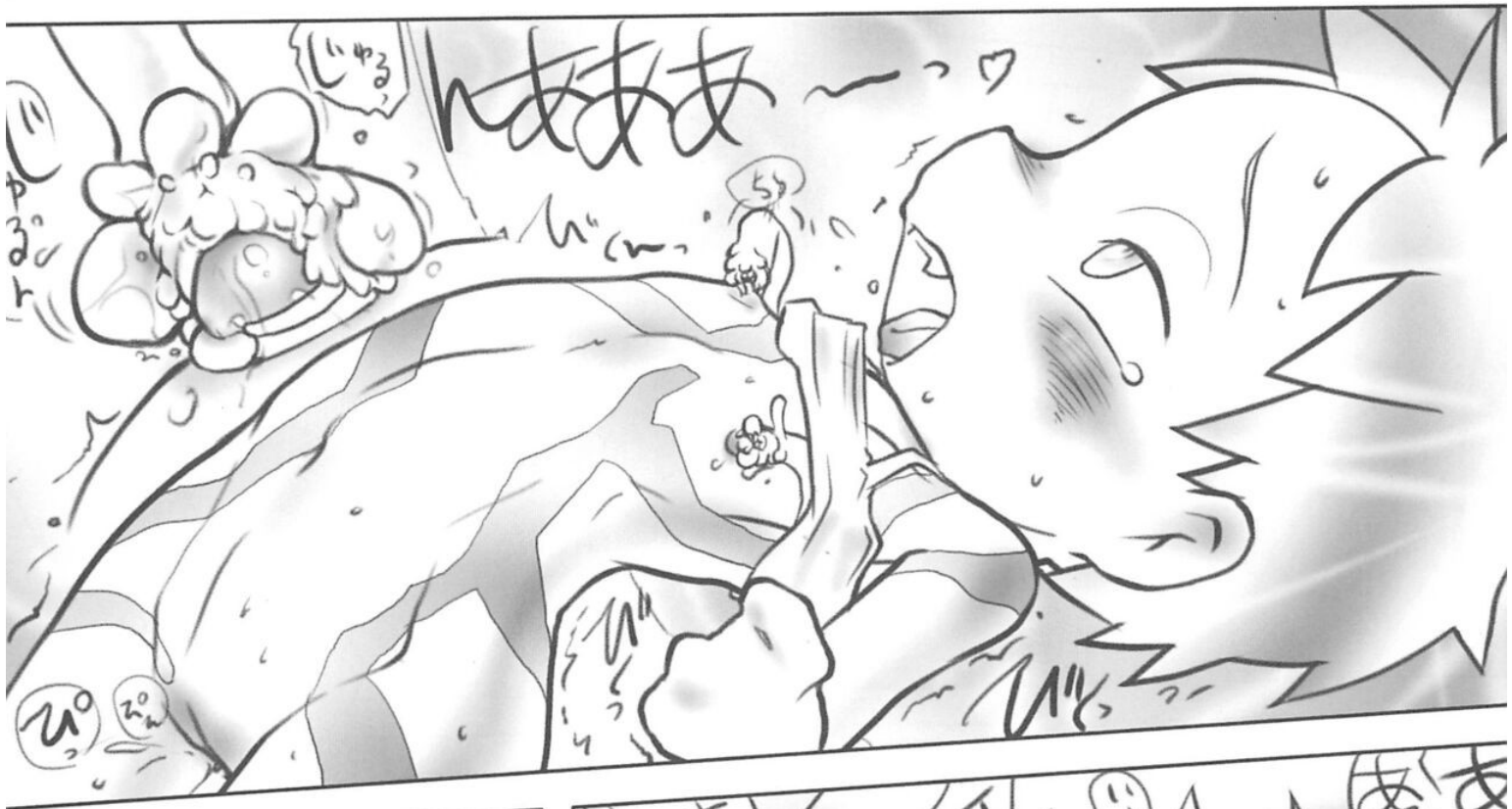
アムカ
アムカ
アムカ

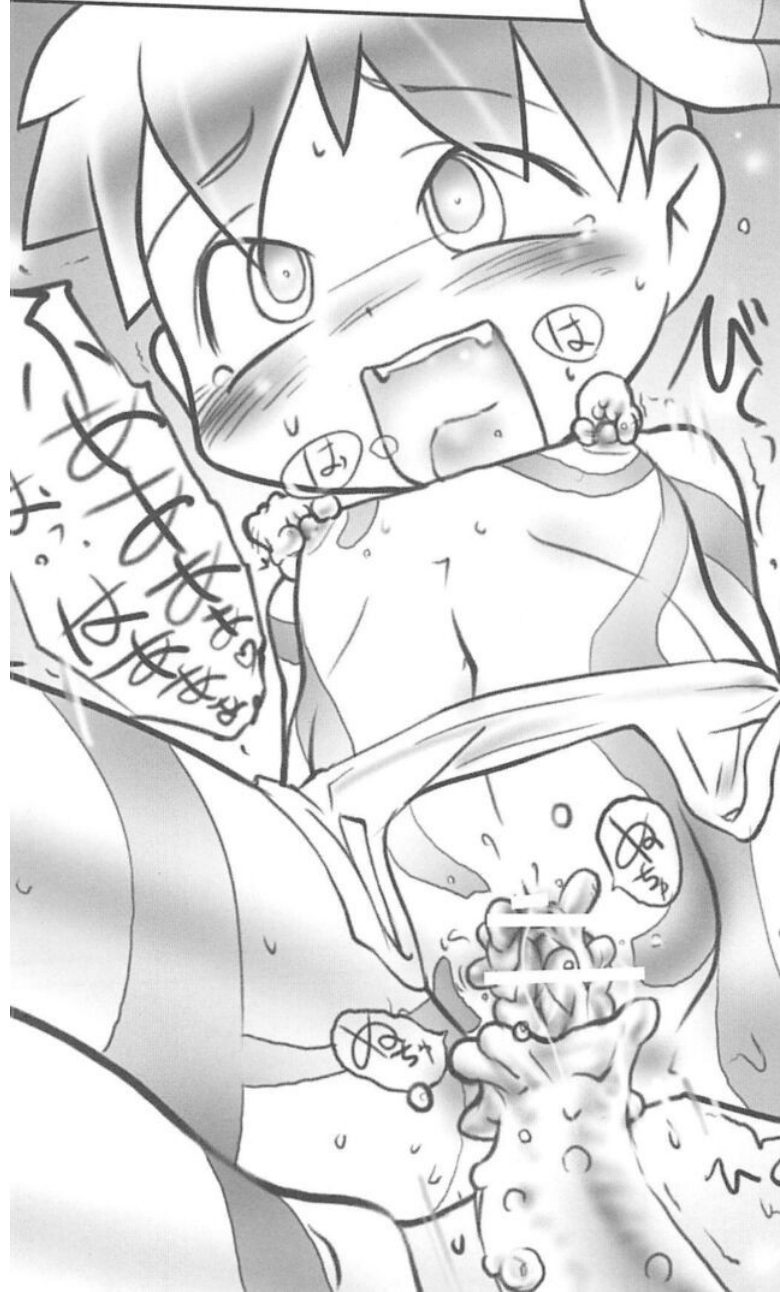
アムカ
アムカ
アムカ

アムカ
アムカ
アムカ

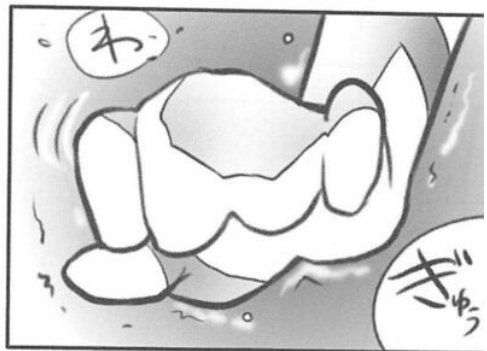








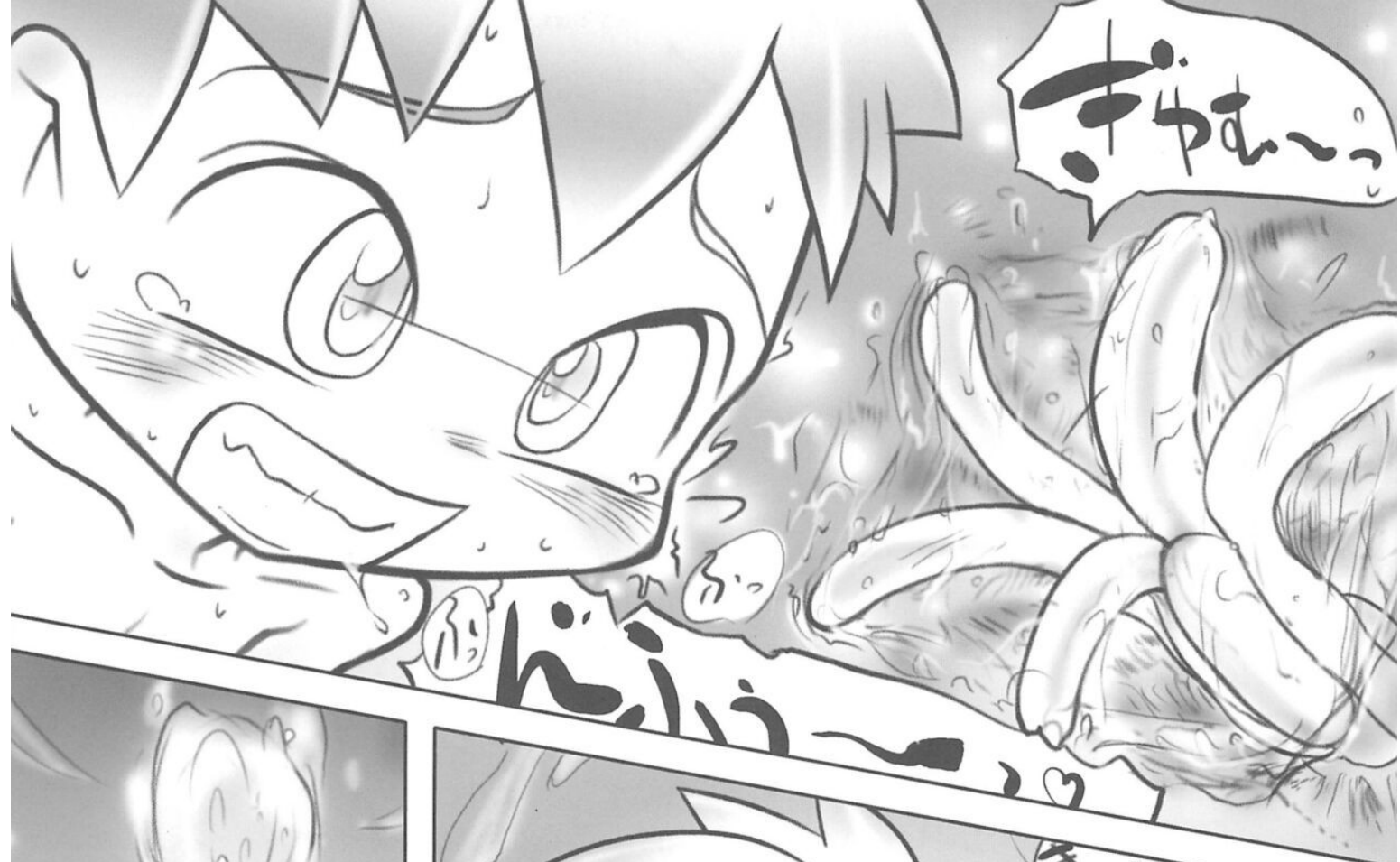












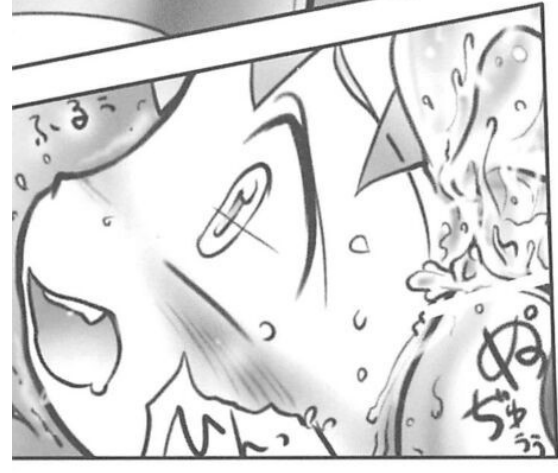






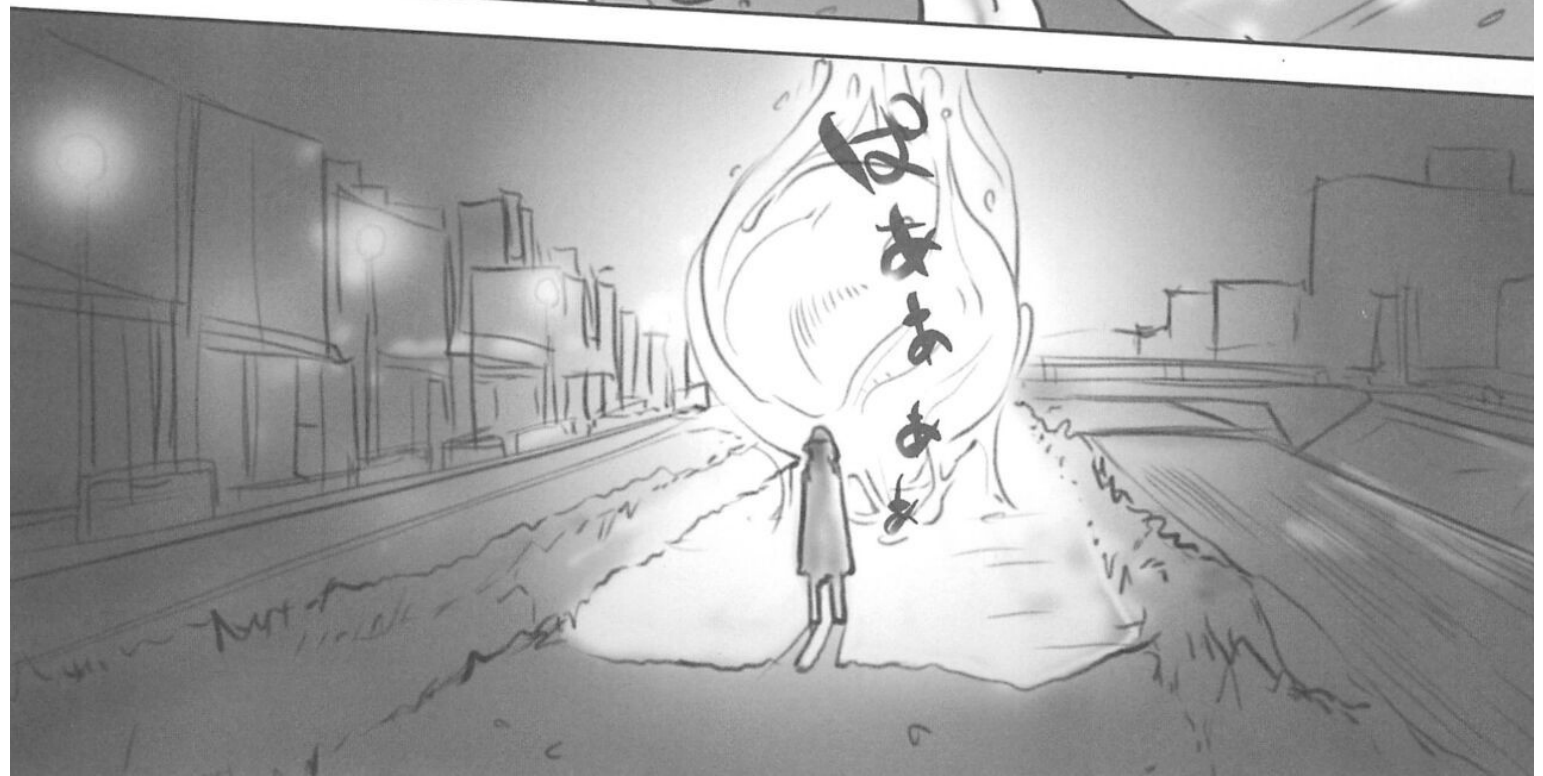




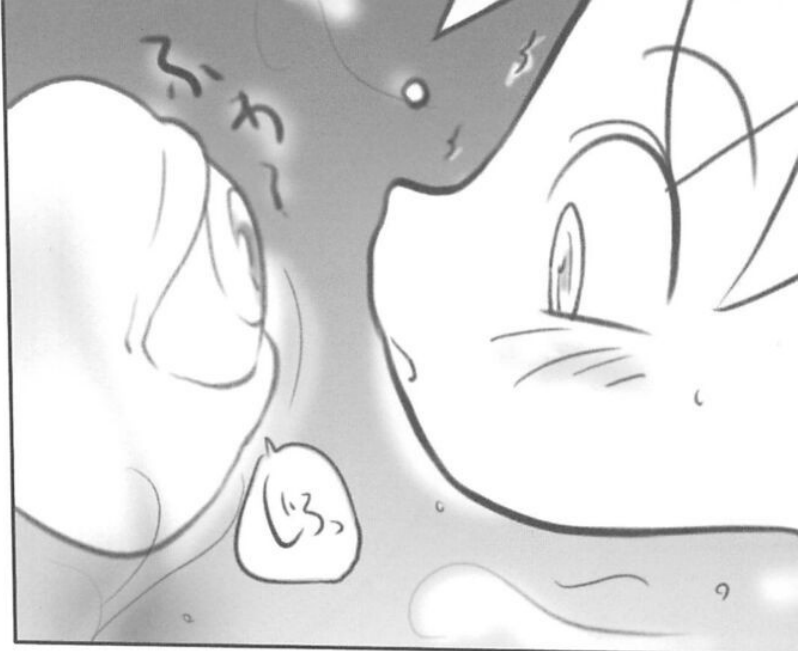










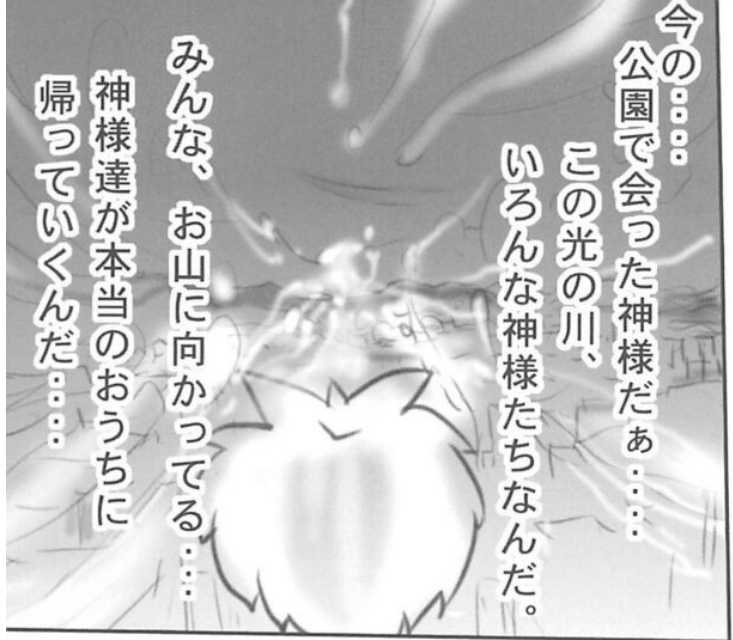


今の……

公園で会った神様だあ……

この光の川、

いろんな神様たちなんだ。



みんな、お山に向かってる……

神様達が本当のおうちに

帰っていくんだ……



もしかして……

私に付いた水神様の

においみたいのを……

街の神様が感じとって

お山に向かっ

ているのかな？

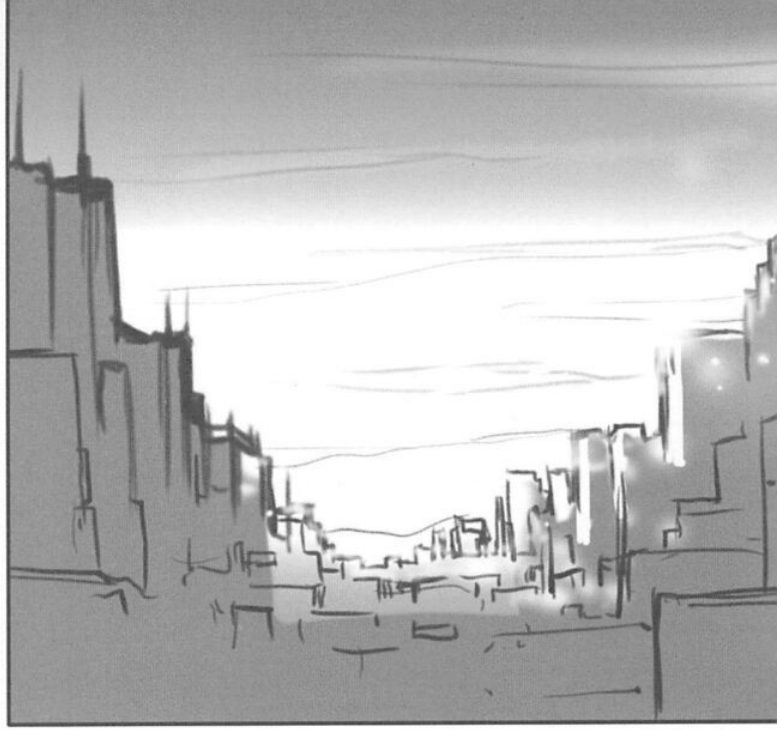
このまま一緒に

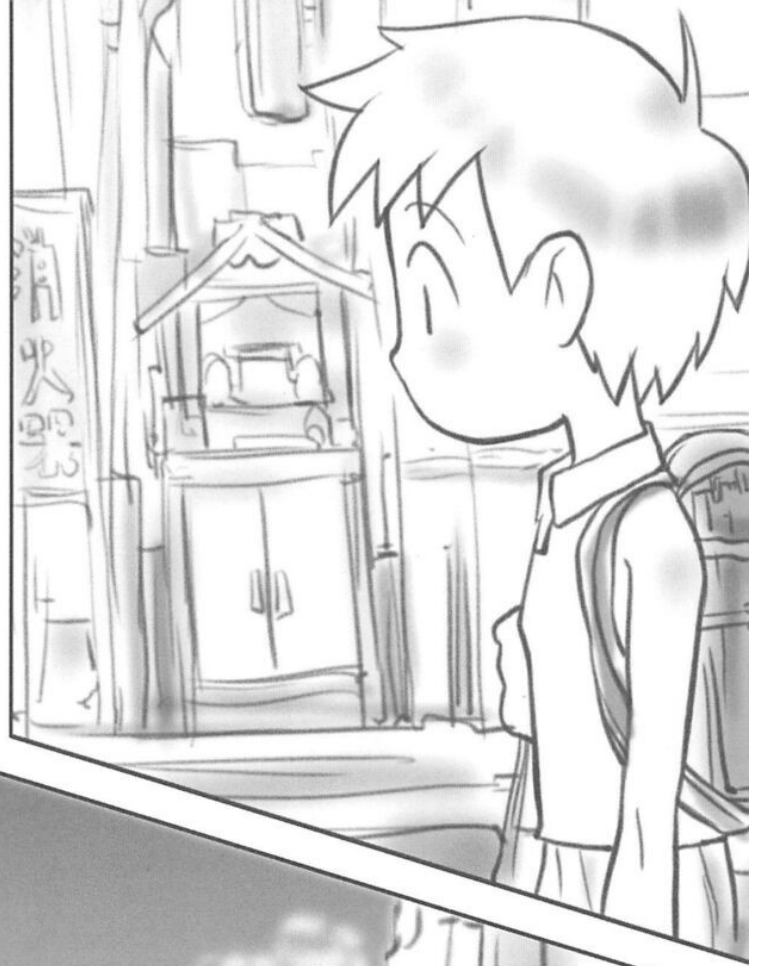
神様たちのおうちに

私も連れて行って

もらえるの？







おはよう



おはようございます...
おはようございます...
おはようございます...
おはようございます...
おはようございます...

おはようございます...
おはようございます...
おはようございます...
おはようございます...
おはようございます...

どうにも
線ミミズが
きつて
きつて

おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう



光

水

おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう

おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう

2006年の
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう



おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう

おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう



おはよう
おはよう
おはよう
おはよう
おはよう

神様たちが山に帰った今も
女の子は神様たちが
帰ってくるのを
待っています。



116 post 5to
1511410 0012 1011
1011 1010
1011 1010 1011
1011 1010 1011
1011 1010 1011
1011 1010 1011

■まずはこの本を手にとっていただいて、お読みいただいてありがとうございました。そしてお疲れさまと言わせていただきます。

まず作者として「ごめんなさい」ただただ長いばかりで変化も無く、延々とアレとゆーか、なんつうか変な事をし続ける下らない漫画でごめんなさい。読んでいて疲れてしまったかと思われま。

まあ何でもこんなモノが生まれたのか、とりえず経緯というか、言い訳なぞつらつら。思えば05年の夏に3年ぶりにコミケに珍しく通り、初のオリジナル漫画を書きました。「水神詣」という奴です。今回の本はその続編です。イラストや挿し絵的なものはそこそこ書いた事だけはあるものの、殆ど「漫画」という書式を書いた事が無く結構苦労しながらも、個人的には気に入ったものが書けたような気がしました。当時は。

して、翌年にさっそくその続編を書こうとネームって奴を切り出したんですが、これが終わらない。かりかり書いて、確か40P超えた所で冬のコミケとなり、急ぎよ代替えのブツを書いた記憶があります。そんな風に、負の連鎖とでも言いましょうか。どんどん本編には色々な要素を(ようは攻めですね)はふくらむ一方。モノを作ろうにも増築をくり返すように50P超えの作品となっていきただ長いだけの駄作という体となってしまう、このまま封印してしまおうかと思っておりました。

しかしまあ、2回程冬コミに2次創作を書いたのですが、やはりオリジナルが書きたい。そんな事を思っていた矢先、たまたまなのですが五月末のぶにけあたりで知人連中とバカ話した二日酔いの朝。 いっちゃん苦労してた部分のネームが切れて、実質3年越しの原作が出来上がりました。

それを待っていたかのように、今回の夏コミの当選通知が来た訳です。もう流石にこれ以上引っぱれないという訳でハラをくくり、製作にとりかかりました。

で、まあ。毎度の事ですが。。。おっぱじめた途端に大きな地震がありまして、本職のほうが洒落にならなくなり、そのまま必死な行程となりました。これを書いている今もセミ徹夜でございます。故に文が妙なテンションですいません。さておき。え〜と。色々で説明というか突っ込みというか……

毎回そうですが、私台詞を手書きでよくやります。よみづらくてすいません。活字にしたいのですが、吹き出し内にうまく納まらないというか雰囲気伝わりにくいんじゃないかという訳で、相変わらず手書きです。消して原稿手書きだからという訳ではありません。一応パソコン使ってやっります。

あと、背景とか色々、どう見ても(コマ割は別として)おめー、正規使ってないだろ?と、まさしくその通りで。全部フリーハンドです。たまにタブレットに正規あてて書いてます。ええ、洒落抜きに。これもまた、なんというか、いかにもパソコン使って書きましたのが嫌いだからもあります。すんません。

え〜と、今回見ての通り、書き始めと書き終わりの間に3年の月日が経っており(ペン入れたのは一気にやったんで、あまり差が無いかも知れませんが)なんつーか、微妙に女の子の雰囲気が違ったりします。 まあ笑ってやって下さい。

それと、本編に出て来る「神様」ってのは、普通我々が意識している「神様」とはちょっとニュアンスが違っていて、どっちかっていうと「異次元の生物」って感じです。人間や世の中のものとは物理的に違う世界にいます。興味があれば干渉してくるような存在。蟲師の『蟲』みたいな生命の根源にある、物理現象を超越したようなもの、、、なイメージです。

また、後半で浮浪者のオッサンに神様がやどりついて女の子にアレするシーンで出て来る(?)影を使った拘束は中々気に入ってます。何かのマンガで見た記憶があるような無いような。絵ヅラのにもボディペイントっぽくなるんでエロく見えるかと期待したのですが、作業的に辛くなるばかりであまり効果が出なかったかも知れません。ちなみに影の中からはどんなモンでも出すのが自由なので、女の子のアソコにぴったりと張り付き内側に向けてナニを出し入れするというプレイも思い付いたんですが、絵的に難しいので止めておきました。あと川原で散歩の犬とのシーンで神様が犬にとりついて、わん子と何ってのも考えましたがなんか別のマンガになっちゃうのでやめときました。つうか動物俺書けねえし〜

あと、夏に通ったのって2002年、2005年。そして今年の2008年。3年サイクルじゃね? で、私が通る年はほぼ身内全員に近くが通ると言う怪異。むう。

で、今何となく昔の原稿見てるんですが、、、、3年前の俺の方が、いろんな意味で上手くねえか?! ('A')という訳で、年々劣化する傾向に来てしまっているような私ですが、この作品を少しでも楽しんで頂ければ幸いです。



Handwritten signature and a small drawing of a character's head.

「おれは...
神様をやらせたいかなんてか
ネーミングはいいわね。続編を
見たいと思って下さる(買者)の
よからで、この本を手にする方が多いです
感謝しております」

発行: 2008/08/17
発行者: 原 浩
連絡先: body3@db3.so-net.ne.jp
印刷: ねこのしっぽ様



Studio
AbunoCulture